

# いざという時のための 防犯ブザー

山口県教育庁学校安全・体育課

防犯ブザーは、危険な状況に遭遇したとき、大音量のブザーを鳴らして周囲に危険を知らせる、また、その音で犯人を慌てさせることができる道具です。

いざというときに、確実に音が鳴り、周囲の人に危険を知らせることができるように、日頃から確認しておきましょう。

## つける場所

すぐに作動することができる場所につけておきましょう。



<首にかける>



<ランドセルの肩かけ前面>



<手提げ鞆の持ち手>

※首にかける場合は、毛糸等強い力で引っ張ると切れるひもを使うなど、首がしまらないように気を付けましょう。

## 効果的な使い方

- 不安に思ったときには、早めに鳴らす。
- 大声を出しながら、ブザーを鳴らす。
- ブザーを鳴らして、投げる(犯人がブザーを止めに行く隙に逃げる)。



## いざというときに正しく使えるために

- 防犯教室や不審者対応避難訓練等を活用して、いざというときに、すぐに使えるよう、使い方を理解し、慣れておきましょう。
- 日常的に点検をしておきましょう。(特に電池の点検)
- 保護者と連携して、家庭での保管方法や取扱等、日頃の管理をきちんとしておきましょう。

